

2019 年度第 3 回スピーカーシリーズ
「London Borough of Culture as area branding strategy」

2019 年 12 月 16 日（月） 14:00～17:00

講師：John Rogers 氏

Psychogeographer-in-Residence for the London Borough of Waltham
Forest, writer and film-maker

場所：クレア・ロンドン事務所 会議室

Waltham Forest 区で Psychogeographer (心理地理学者) として活躍されている John Rogers 氏を講師に招き、「London Borough of Culture as area branding strategy」をテーマに、地域の魅力をどのように発信していくかについてお聞きした。

◆ウォルサム・フォレスト区とロンドン・バラ・オブ・カルチャー

- ・ ウォルサム・フォレスト区はロンドンの北東に位置し、豊かな自然が残る北部、オリンピック・パークの一部がある都市的景観の南部など、多様な景色が広がるエリアである。
- ・ このウォルサム・フォレスト区は、2019 年、初のロンドン・バラ・オブ・カルチャーに選ばれた。ロンドン・バラ・オブ・カルチャーとはロンドン市（グレーター・ロンドン・オーソリティー）が出資するプロジェクトで、ロンドンの芸術と文化の多様性を PR するためロンドン市内の選ばれた区で 1 年を通じて、様々な文化的活動・イベントが行われるものである。心理地理学者及びガイドブックの執筆者として、ロジャーズ氏は地元の芸術家と共にウォーキングツアーを行った。
- ・ ロンドン・バラ・オブ・カルチャーにおいて、ウォルサム・フォレスト区の役割は、経済的パートナーを探すこと、イベントを周知すること、ロンドン市の助成では足りない部分の財政的支援をすることである。

◆心理地理学とは

- ・ 心理地理学とは地理的環境が人々の行動と感情に及ぼす影響を研究する学問（例えば、町の発展を人々はどのように感じるかなど）。
- ・ この考え方はフランス人の心理学者によってもたらされた。心理地理学の一つの概念は「デリーヴ」(derive) という目的なしで町をさまよう開放的な活動である。例えば、大都市に住んでいても、ほとんどの人はいつも自宅と職場、スーパーなどを往復しているだけであるが、違う道をぶらぶら歩くとまったく違う風景、感覚がもたらされるというようなものである。
- ・ ロジャーズ氏のウォーキングツアーは人々に別の視点で地域をみることを促し、その場所がどのように変わっていったかなどを見せるような内容になっている。

◆心理地理学ウォーキングの種類

- 歴史的な道をたどる
- 目的なしでさまよう
- インフラと発展をたどる
- 古い地図に載っている現在は存在していない道をたどる
- 川沿いや暗渠となった小川を発見する

◆ウォーキングツアーの広報

- ・ ツアーはインスタグラムとユーチューブという 2 つの SNS で告知。
- ・ インスタグラムはフェイスブックや他の SNS 等より効果がある。「ストーリー」機能を利用して告知すると全く費用がかからない。ストーリーで告知すると、24 時間で投稿が消えライブ感があるとともに、誰がそれを見たかの足跡が残る。
- ・ ロジャーズ氏は自ら歩く動画を撮って YouTube にアップロードしているが、そのビデオのフォロワーがツアーに参加してくれた実績もある。

◆ウォーキングツアーの内容

- ・ ツアーのチケットは一人 10 ポンドで Eventbrite(ネット上のイベント管理サイト)を使い販売。
- ・ 定員は 15 人でツアーの所要時間は約 3 時間
- ・ 思い出の品にもなるよう参加者全員に地元の印刷会社に発注して作った地図を渡した。このマップのように参加者が何か持って帰ることができるものを渡すことは、地域を PR する上でもよい。
- ・ 参加者の属性は、地域住民のほか、時にはアメリカからの参加者もいた。
- ・ ツアーは面白くすることが最も重要。参加者の町の見方を変えて、なぜ町の風景が進化するかを考えさせながら歴史や文化、地理などの背景を伝える。
- ・ ウォーキングルートは町の中心部や住宅街、森、湿地帯、田園地帯など様々な景色を見ることができるようにした。
- ・ ツアー後の参加者の SNS での投稿では、ツアーの評価が良かったことが伺える。

◆日本の地方自治体へのアドバイス

ユーチューブ

- ・ ユーチューブ用に動画を作成する場合、Vlog(Video BLOG : 動画を使ったブログ)形式のようにカメラに向かって話すスタイルが重要である。そうすることで、視聴者がビデオ内の人物とつながり、信頼感をいなくことになる。このことからカメラの前に立つ人物の性格が人を惹きつけるかどうかの鍵となる。また面白いコンテンツを定期的にアップロードすることも重要。
- ・ 以前に比べ、手頃なカメラでもきれいな動画を撮影できるようになってきているが、音質のよいオーディオを使うことが質の高いビデオ作りには必須である。質のいい

コンテンツがどのようなものかを知るには人気ユーチューバーの動画を見るとよい。

面白いものを発見する

- ・ 自分たちの地域は有名な都市ではないので、面白いものはないと考えている人がいるかもしれないが、皆が知っているものより、これまで知られていなかったが、地元の何気ないものが実は誰もが知っているものとのつながりがあった、というような話の方が面白く、魅力的である。
- ・ 自分たちの地域のものや人、歴史が、他の地域や有名人・現代の慣習等につながっているという話はどんな地域でもあるもので、そのようなフックとなる地元の隠れた事実や魅力を発見していくことが重要である。

ツアーのため背景調査

- ・ 上記のようなことから、ウォーキングツアーを行う前に地域の背景を調査したほうがいい。
- ・ 古い本や地図は、たとえそれが 100%正確でなくても良い参考文献となる。
- ・ また地元の人と話すことも重要な情報源となりえる。
- ・ 調査は、学者のようにそんなに深く調べなくても面白い会話ができる程度で十分である。

ロジャーズ氏のユーチューブ動画の例

<https://www.youtube.com/watch?v=mMKsyrw8Eho>

